

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No.38

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟

発行日
平成27年 1月31日

年頭のご挨拶

日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井 嘉浩



初春の候、皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのこと
と思います。

昨年末に、富士章、菊章を受章したベンチャースカウト、ボー
イスカウトの皆さんに顕彰記念品をお渡しする機会をいただき
ました。その際、スカウト技術の向上やボランティア活動をはじ
め、それぞれの目標に向かって努力する各スカウトの姿を拝見す
ることができ、次代を担う若者の成長に頼もしさを感じました。

昨年1年間を振り返ってみますと、長野県御嶽山の突然の噴火
による災害、同じく長野県を震源とする震度6弱の地震による家
屋倒壊等の災害、広島県の豪雨による土石流災害など、あらため
て人知を超えた自然災害の脅威を思い知らされた1年でもあり
ました。

自然災害はいつ、どこで発生するかわかりません。皆様におか
れましては、命を守るという意味から、「そなえよつねに」に象

徴されるボーイスカウトの精神をしっかりと受け継ぎ、次の世代へと伝えていってほしいと思いま
す。

さて、今年の夏には、世界161の国と地域から青少年とその指導者、およそ3万人が山口県に
集い、「第23回世界スカウトジャンボリー」が盛大に開催されます。日本での開催は、昭和46
年の第13回大会（静岡県朝霧高原）以来44年ぶり2回目の開催となります。

東日本大震災の折には、世界中の多くのスカウト連盟から御支援をいただきました。ぜひ、積極
的に世界スカウトジャンボリーへ参加し、世界各国の仲間と交流を深め、復興する宮城の姿を世界
の仲間に伝えてほしいと思います。

また、これを機に、県内におけるスカウト運動がより活性化され、目的を共に活動する仲間が増
えることを期待しています。

県連役員をはじめ指導者の皆様には、スカウトがさらに意欲的に活動に取り組めるよう、また、
今後も意義あるスカウト運動が展開されるよう、励ましと御指導をお願いいたします。

結びに、当連盟の益々の発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして新春の挨拶といたしま
す。

平成28年度ボーイスカウト全国大会宮城県開催
平成28年5月28日～29日



平成26年度精励スカウト顕彰及び連盟長表敬

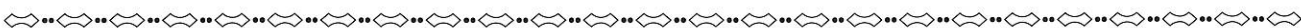
12月25日、平成26年度の精励スカウトとして、富士スカウトの和田悠佑君(仙台第1団)のほか、菊スカウト11名と「第20回全国スカウトフォーラム」に参加した鎌田賢人君(塩釜第1団)とその保護者13名、県連役員・隊指導者を合わせた38名が宮城県庁・庁議室において、県連盟長である村井知事を表敬訪問しました。

芳賀理事長の挨拶から始まり、東宮御所表敬の報告が和田君から全国スカウトフォーラムの報告が鎌田君からあり、村井県連盟長よりスカウトへ顕彰記念のチーフリングが授与されました。

村井県連盟長からは、「両親や周りの人の支えに感謝する心を忘れずに精進してください」との励ましの言葉を頂きました。

その後、県生涯学習課三浦課長との懇談があり、「北海道・東北ブロックベンチャースカウトのつどい」に参加した尾形凜太郎君(仙台第28団)より報告がありました。

終始和やか雰囲気の中で進められ、報告や質問に対してしっかりとした受け答えをする精励スカウトたちの成長を頼もしく感じる表敬訪問でした。



平成26年度第3回スカウトセミナー開催



平成27年1月18日、スカウトセミナー(ボーイスカウト講習会)がこもれびの降る丘遊楽館(石巻市)で開催されました。

参加者は涌谷第1団、石巻第2団、石巻第6団のベンチャースカウト・ローバースカウト、保護者の計8名で、当日は風が強く肌寒い日でしたが、ハイキングやゲームなどに熱心に取り組んでいました。

参加された保護者の一人は、「今日はボーイスカウト運動を系統立てて知ることが出来たので、親としては安心しました。これからの活動が楽しみです。」と語っていました。スカウトセミナーは、スカウト運動の概要やスカウト教育の原理と基本的な方法を体験を通して知って頂くことを目的にしています。

次回は、3月8日(日)仙台市泉区中央市民センターで開催する予定です。





「ローバースカウト隊」発隊です!!

仙台第28団 団委員長 今野 利夫

平成26年12月14日(日)仙台市太白区柳生地区にあります柳生市民センターで、県連盟芳賀理事長、千葉コミッショナー、小堤仙台地区副コミッショナー、友団として岩沼第1団高橋副団委員長の出席を賜り、ローバースカウト隊が発隊いたしました。

隊旗のもとに、新たなローバースカウト活動を展開し、地域社会に必要とされるスカウト活動を行っていきたいと考えています。乙訓隊長以下スカウト、指導者が心をつにしたところです。

当団は、昭和34(1959)年1月に指導者6名とスカウト32名で発団し、本年度で55周年となる節目の年に、新たにローバースカウト隊が発隊できたことは指導者及び地域の方々に広く愛され理解されていてこそと思っております。

仙台第28団では、昭和57(1982)年10月にカブスカウト隊、平成元(1989)年6月にビーバースカウト隊、平成9(1997)年10月にベンチャースカウト隊が発隊しています。



日本ボーイスカウト仙台第28団 ローバースカウト隊発隊式 平成26年12月14日

第19回仙台地区雪中キャンプを実施しました!

雪中キャンプ隊 隊長 仙台第28団 乙訓 敬仁



去る1月10日~12日、2泊3日で「第19回仙台地区雪中キャンプ」を実施しました。

開催場所を宮城蔵王白石スキー場に移してから3回目の雪中キャンプとなります。

今回は仙台第12団から上杉峻佑君、仙台第28団から尾形凜太郎君の2名のベンチャースカウトが参加しました。

昨年ほどではないものの、十分な積雪に恵まれ、イグルー作成に挑戦、雪中キャンプ初体験のスタッフも手伝いながら、3時間程で2人用の小さなイグルーが完成。なんとか炊事開始時間までに食堂も完成し、まさに「無」から自分たちの居住空間を造りあげました。

入り口以外は隙間のないイグルーの中は、日常ではあり得ないほどの「無音」...しっかり防寒してなんとか就寝出来たようです。2日目は、9月から進めてきたチームプロジェクト

「Snowboarding!」を実施。天候に恵まれ快晴の中、果たして目標は達成出来たのでしょうか...?(現時点では報告書未提出なので不明)

最終日は未明から、立ってられないほどの強風(瞬間風速20m以上)が吹き荒れました。イグルーは大丈夫かと心配しましたが、2晩を経て固く締ったイグルーはびくともしませんでした。午後には風も収まり、徹営となりました。あれほど苦労して造ったイグルーも潰す時は一瞬です。スキーの邪魔にならないよう、みんなで踏み固め、30分程であとかたもなくなりました。

閉村式の最後に、お世話になった大自然に感謝の弥栄を捧げ、第19回仙台地区雪中キャンプは無事終了となりました。来年で20回の節目を迎える「仙台地区雪中キャンプ」ですが、今回より参加者を県内他地区まで呼びかけています。残念ながら今回は参加者が少なかったですが、まさにベンチャースカウトの活動に相応しい、滅多に経験の出来ない「雪中での3日間」、ぜひ参加しませんか!第20回仙台地区雪中キャンプは、平成28年1月9日~11日に開催予定です。



第23回スカウトジャンボリー(23WSJ) 参加者追加募集

特別委員会委員長 村上佳司

第23回世界スカウトジャンボリーまで、あと6か月となりました。

当県連盟では、1月末日まで参加者の追加募集を実施しておりますが、1月15日現在で内定者を含めて49名（スカウト33名、隊長・副長希望者5名、大会運営スタッフ希望者11名）の申込者となっておりますが、当県連盟のスカウト割当数は54名（1.5個隊）です。

もしスカウト数が1個隊に満たない場合は、不足のスカウト数を外国スカウトで補充することになります。是非とも当県連盟では最低1個隊編成にしたいと考えておりますので、各団・隊にて再度、参加スカウトの勧誘活動をよろしくお願い致します。

- ◎スカウト不足数
- ・1.5個隊の場合(54名)⇒21名
 - ・1個隊の場合(36名)⇒3名

尚、1月末日以降に参加希望者が出た場合は、県連事務所または副委員長（横澤繁携帯電話 080-6009-3856）へ至急連絡ください。

1. 第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)の概要

- (1) 大会期間：2015年7月28日（火）～8月8日（土）12日間
- (2) 会場：山口県山口市阿知須きらら浜
- (3) 参加者：162の国・地域から約3万人（うち日本から6千人）
- (4) 参加期間：2015年7月27日（月）～8月8日（土）13日間（参加隊半数：先発参加隊）
2015年7月28日（火）～8月9日（日）13日間（参加隊半数：後発参加隊）
2015年7月25日（土）～8月9日（日）16日間（IST）

2. 日本派遣団参加者募集内容

- (1) 募集人員：① 参加者 合計6,000人（スカウト5,400人、参加隊指導者600人）
② 大会運営スタッフのうち国際サービスチーム員（IST） 最大3,000人
- (2) 参加費：一人当たり、参加費10万円＋「オペレーションきらら」1千円
- (3) 派遣経費：参加費に加えて、一人当たり見込金額 約10万円
 - ① 日本派遣団諸経費：見込み額2万円
 - ② ジャンボリー会場への往復交通費：約6万円（JR新幹線・未確定）
 - ③ 資材輸送費：見込み額5千円（日通・未確定）
 - ④ 参加隊準備訓練経費（未確定）および準備訓練会場への往復交通費等（未確定）
 - ⑤ 参加隊隊費（未確定）
- (4) 参加隊の編成：1隊あたり指導者4人（隊長1、副長3）およびスカウト36人（9×4）
- (5) 県連盟面接：2月上旬を予定（2月中旬に県連推薦内定）
- (6) 交替参加
 - ① 隊指導者（副長）・ISTの交替参加（2人1組）【参加費6万円】
日程：前半参加者／7月25日（土）会場着 8月1日（土）会場発
後半参加者／8月1日（土）会場着 8月9日（日）会場発
 - ② ISTの部分参加【参加費4万円】
5泊6日間を基本として奉仕日程別にチームを編成して必要部署へ配属
医師・看護師等の大会で必要とする有資格者・特殊技能者については、最短3泊4日～最長5泊6日の任意の日程での参加可能
- (7) 国際サービスチーム員（IST）学生の遅参・早退参加【参加費10万円】
学生の試験期間や長期休暇等のやむを得ない理由により、全日程参加出来ない場合には、7月29日（水）までの遅参、及び8月5日（水）からの早退のいずれかを認める

<編集後記>

スカウトセミナーの参加者に「今年一年の抱負」を聞きましたら『スカウトとして、隊や団の一員として、また一人の人間として成長し、後輩のスカウト達に少しでも何かが残せるよう精進したいです』『子どもが入団し、子ども自身の健やかな成長のため、親自身もスカウト活動に理解を深める』との答えが返ってきました。皆さんは年頭に当たりどんな抱負を立てられましたか？良き一年でありますよう皆さんのご活躍をご祈念いたします。

■発行：日本ボーイスカウト宮城県連盟

■編集：宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 鈴木 美恵子

委員 白根沢 健 小野寺 康 松本 康男
横澤 達夫 小野寺 純 大沼 茂雄

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-355-6267

ホームページ URL <http://www.scout-miyagi.jp/>

■印刷：株式会社小野寺印刷所